

番号	課名等	取組名	取組概要	該当する教育大綱の教育方針	共生のポイント
1	地域共生推進課	きた★がーる	北小校区共生ステーションを舞台に、志のある人たちが刺激しあい、地域の活性化と問題解決を図ることを目的とし、若手女性を中心にざっくばらんに話をするための場。 コロナ禍において、「今、安心安全にできること」を意識し、社会と個人のつながりを維持するためのイベント「きた★きたウォークラリー」を開催。	教育方針 2	参加者が目的意識を持って、地域のつながりづくりや活性化のために継続的に集まり、話し合いを重ねる中で新たな事業の実施まで発展することにより、当事者間の自治意識もより高まる機会となっている。
2	地域共生推進課	北ステお助け隊	北小校区共生ステーションの混雑時や職員だけでは施設管理対応が困難な際に、地域ボランティアが環境整備、受付業務補助、来館者の応対などの支援を行う。 また、北小校区で誰かのために何かやりたいという人の支援にも携わる。	教育方針 3	地域の居場所として、様々な人が集まる地域共生ステーションにおいて、住民ボランティアが来館者の話を聞くなどの関わり合いが生まれることで、互いの価値観が共有され、新たな学びのきっかけとなる。
3	地域共生推進課	参加支援事業「N-ジョイ」	社会的なつながりを持たずにいる、ひきこもりがちな市民及びその家族等が気軽に相談できる窓口と居場所を福祉の家内に開設し、定期開放している。	教育方針 3	社会的なつながりが持てずにいる人、新しい交流を求めている人など様々な価値観を持った人が気軽に集まり、スタッフとの相談や交流イベントを通して、それぞれの価値観を認め合える新たな居場所が生まれる。
4	地域共生推進課	支え合いマップづくり	地域の困りごとを地域の中で共有し、地域の中でできることを話し合う場を月1回実施している。	教育方針 3	地域の課題を地域の中でできるよう市民間で話し合う事で、地域の中でのつながりや役割、居場所の創出につながる。
5	地域共生推進課	北ステ活動団体交流会	北小校区を中心に活動している団体同士をつなげ、お互いの活動の幅を広げ、北小校区内での課題を解決できるよう、交流のきっかけづくりを行う。	教育方針 3	北小校区共生ステーションの利用方法を活動団体同士で一緒に考え、交流会を協働して実施することで、団体のつながりを創出する。
6	企画政策課	ありがとうメッセージの募集	市制10周年記念事業として、市民から日頃言葉に出来ていない「ありがとう」のメッセージを募集し、集めたメッセージを掲載したカレンダーを作成し、配布。	教育方針 3	忙しい日常では意識しない「ありがとう」の気持ちを探し、認識することで、多様な人、ものに支えられて自分があることに気づき、感謝することの出来る人づくりを意識している。
7	たつせがある課	長久手市多文化共生推進プラン	本市の外国人市民数増加に伴い、「日本人と外国人がともに理解しあい、地域の一員として活躍するまち長久手」を基本理念とし、外国人支援や多文化理解を促進した取組を実施。	教育方針 3	外国人支援に加え、外国人の文化的背景の理解促進や、外国人が企画及び運営などに関わり、活躍できるような事業も行っている。

番号	課名等	取組名	取組概要	該当する教育大綱の教育方針	共生のポイント
8	たつせがある課	地域共生ステーション管理事業	地域の活動拠点となる地域共生ステーションを整備し、地域の人たちのつながりの場を提供している。活動団体による高齢者向けの健康体操等の事業の実施、また活動団体同士のつながりづくりの事業を実施し、団体同士のつながりや多世代交流のきっかけになっている。また、活動団体やまちづくり協議会及び社会福祉協議会と協働して、余った食材のお裾分けや中学校の制服のリユースなど実施して、助けが必要な人とつながるきっかけをつくっている。	教育方針 2	誰もが気軽に集まる場を提供することで、多世代に渡り地域住民同士がつながり、地域のことを地域で考え、地域のための様々な取組を進めることができる。
9	たつせがある課	男女共同参画推進事業	男性と女性が性別にとらわれず能力を発揮し、互いを尊重しつつ責任を分かち合えるまちづくりを進めて行くための取組を実施	教育方針 3	男女共同参画基本計画に基づき、講座の実施や情報紙の作成等の啓発活動を実施することで、人々が自分らしく生きることできる取組を実施している。
10	生涯学習課	ながくて・学び・アイ講座の実施	企画・運営を公募の講師が行い、講師と受講生がそれぞれの立場で学び合う、市民主体の講座を開催する。	教育方針 3	講座の開催を通じて、地域の人材育成や市民相互の交流、学習成果を地域に還元していく環境づくり等を支援している。
11	生涯学習課	スポーツ推進委員事業	ニュースポーツフェスティバルや長久手新春ふれあいマラソン大会などの各種事業の企画運営など、市スポーツ行政の中心的役割。	教育方針 2	イベントでの地域とのかかわりなど、スポーツを通じた地域との関わりがある。
12	生涯学習課	校区体育委員事業	各小学校区の校区体育委員が土曜日の夜間に小学校体育館開放を行っている。また校区運動会を開催している。	教育方針 2	小学校体育館開放や校区運動会で、スポーツを通じた地域との関わりがある。
13	生涯学習課	チーム紹介	一般の方に紹介してもよいと回答したチームを、スポーツチームに入りたいと申し出のあった方に紹介している。	教育方針 2	スポーツを通じた地域との関わり
14	生涯学習課	スポーツ教室	スポーツ教室を開催している。	教育方針 2	スポーツ教室をきっかけにスポーツを続け地域のチームに入ったり、スポーツ教室の参加者でチームを作ったりして地域と関わっている。

番号	課名等	取組名	取組概要	該当する教育大綱の教育方針	共生のポイント
15	生涯学習課	マラソン大会	例年1月に新春ふれあいマラソン大会を開催している。	教育方針 2	地域の方の出店や多くの方が集まるイベントで、マラソンを通じて地域と関わっている。
16	生涯学習課	愛知駅伝	例年12月に開催される愛知駅伝に参加している。	教育方針 2	スポーツ推進委員やスポーツ協会も関わり、地域の方から応援もあり、駅伝を通じて地域と関わっている。
17	生涯学習課	スポーツ協会補助金	スポーツ表彰、市民大会、スポーツ教室の開催やスポーツ少年団の活動など。	教育方針 2	各加盟団体において、スポーツ大会や教室などを行って地域住民の交流の場ともなっており、スポーツ少年団は地域の方と市内小中学生の関わり場となっている。
18	生涯学習課	レクリエーション協会補助金	幅広い年齢層の人がレクリエーションを楽しむ団体。レクリエーションフェスティバルや各加盟団体によるチャレンジ教室やあそびの城の開催など。	教育方針 2	イベントでの地域の交流の場であったり、チャレンジ教室やあそびの城では地域の方と市内小学生の関わり場となっている。
19	文化の家	インクルーシブアート展関連WS	市制10周年を記念し、このWSにて、健常者と障がい者が同じ空間でおりがみなどで「ありがとうの花」を作り、色紙サイズの和紙に貼り付ける。その後色紙サイズの額に入れ健常者の作品や障がい者の作品関係なく、文化の家展示室に掲示する。	教育方針 3	健常者と障がい者が同じ空間でアートを作成することで、自分とは違う人たちも生きているんだと自覚し、多様性や共生社会を意識することができる。
20	文化の家	自治会連携「お月見どろぼう」	子どもたちが近所のお宅を回り、お菓子等をもらい歩く長久手市の風物詩である「お月見どろぼう」があります。近隣自治会と連携し、文化の家館内で同事業を行い150組の子どもたちで賑わいました。	教育方針 2	自治会または個人でおこなう「お月見どろぼう」を広げた視点で、多くの家族が集い、家庭内融和と地域社会をつなぐことで地域の共存が進む。
21	文化の家	「ふくしであーと」オンライン配信版	福祉施設に芸術家が出向き、双方で音楽に触れる「ふくしであーと」。コロナ禍で家族が出会う機会が少なくなった今、福祉施設で過ごすおじいちゃん、おばあちゃんの姿を生配信し家族にみてもらう事業です。	教育方針 3	大好きなおじいちゃん、おばあちゃんの元気な姿を見ることで、家族の成り立ちと人生観を共有、共生できる。
22	福祉課	手話奉仕員養成講座	ノーマライゼーション社会の実現に向けて、聴覚障がい者等の日常生活上の初歩的なコミュニケーション支援を行う手話奉仕員の養成講座を開講。	教育方針 3	手話奉仕員を養成することにより、聴覚障がい者等の自立と社会参加の促進が図られることを目的としている。

番号	課名等	取組名	取組概要	該当する教育大綱の教育方針	共生のポイント
23	福祉課	要約筆記奉仕員養成講座	ノーマライゼーション社会の実現に向けて、聴覚障がい者等の日常生活上の初歩的なコミュニケーション支援を行う要約筆記奉仕員の養成講座を開講。	教育方針 3	要約筆記奉仕員を養成することにより、聴覚障がい者等の自立と社会参加の促進が図られることを目的としている。
24	福祉課	障がいのある方の暮らしを紹介する動画	障がい者自立支援協議会の取り組みとして、障がいのある方の暮らしを紹介する動画を作成。市HPや社協HP等で公開。	教育方針 3	普段知る機会の少ない障がいのある方の暮らしを知ってもらうことにより、多様な人々の存在や価値観を認めるきっかけにしていきたい。
25	長寿課	ワンコインサービス事業	地域の有償ボランティアが在宅の高齢者に対し、軽度な日常生活の支援を行う。	教育方針 2	有償ボランティアと高齢者で支え合うことで、安心して暮らし続けられるまちづくりを目指している。また、有償ボランティアにとっても、役割を与えられることで生きがいづくりに繋げている。
26	長寿課	生活支援サポーター事業	生活支援サポーター（ボランティア）が、高齢者を主とした誰もが参加できる様々な集いの場での協力や避難行動要支援者をはじめとする見守りを希望する住民に対する訪問等の活動を行う。	教育方針 3	ボランティアには、地域での役割を持ってもらうことにより、生きがいづくりに繋げることに加え、高齢者の継続的な見守り支援をすることで安心安全に暮らせる地域づくりを目指している。
27	健康推進課	命の学習講座	中学校から依頼を受け、保健師の講師派遣をしている。妊娠・出産の知識の普及を行い、人間としての愛や性について考える機会としている。	教育方針 2	生命の大切さ・自他ともに大切にすることを伝えていくこと、将来子どもたちが親になったときに順調な子育てができるようにつなげられることも目的としている。
28	子ども未来課 子ども家庭課	上郷複合施設内交流	上郷保育園、上郷児童館、長久手市児童発達支援センターの交流事業 上郷児童館での、保育園年長による児発センター通所児童への歌のプレゼント	教育方針 3	複合施設内の子どもたちによる、施設を超えたまぎらわす第1歩目のイベント。 あわせて、職員たちも交流を行っている。
29	子ども未来課 子ども家庭課	上郷複合施設内交流	地域への交流の場として設置している、「地域の庭」及び「サロン室（かまど）」利用	教育方針 1	種まき、水やり、草取り、収穫、リース作り、いも蒸し等を通じ自然と関わり共生している。
30	みどりの推進課	平成こども塾体験学習事業	自然とのふれあい、体験を通じた環境教育、地域や人との交流、食体験等の機会を通じて学び、生きる力を育みます。年間約200回実施予定。	教育方針 1	自然とのふれあい、食と農、ものづくり、伝統文化などさまざまな分野の体験活動を通じて子どもたちの感性、生きる力、世代を超えたコミュニケーション能力を育みます。

番号	課名等	取組名	取組概要	該当する教育大綱の教育方針	共生のポイント
31	教育総務課	長久手小学校区地域学校協働活動事業【資料2-2①】	地域のボランティア団体や自治組織等の地域住民による登下校の見守り、除草等による美化活動、夏季・冬季休業期間の宿題支援。	教育方針 2	少子高齢化や地域のつながりが薄くなっているなか、学校だけではなく、地域全体で地域の特色を活かし、学校と地域住民が協働して子どもたちの成長を支えることとしている。
32	教育総務課	「ほとぎの里」交流事業【資料2-2②】	市が洞小学校3・4年生全員が「ほとぎの里」交流館見学を通して自然共生について学んだ。 職員がホタルの生態について教える出前講座が開かれた。 また、学校の職員がほとぎの里でホタルの観賞を行った。	教育方針 1	長久手みなみ里山クラブとの交流活動を通して子どもも教員も自然環境を学び地域の人のつながりの大切さを体感させることをねらいとしている。
33	教育総務課	中学校制服プレザー導入【資料2-2③】	2023年度の新入生より導入される制服のプレザーが生徒・児童を含む市民総選挙で決定した。	教育方針 3	温度調節や性差を感じさせないジェンダーレス化を考慮して、子どもたちと市民に長く愛される制服をネット投票を含めて選んだ。
34	教育総務課	命の学習講座【資料2-2④】	北中学校3年生を対象に「命の学習講座」を開き、大学教授やNPO法人などの専門家が「生や性・命」についての授業を実施した。	教育方針 3	今回はじめて「性の多様性」当事者が実体験を語り、多様性尊重を学んだ。
35	教育総務課	国際交流事業	北小学校6年生、東小学校4年生が国際交流事業を通して多様な人々の価値観を学ぶ（2月実施）。	教育方針 3	自分と違う他者の存在を認めあうことをねらいとしている。
36	教育総務課	「無事帰る」願いマスコット【資料2-2⑤】	地域の高齢者が新1年生に手作りしたカエル型のマスコットを贈った。	教育方針 2	地域が学校を支え、子どもたちの安全を見守ってくれている。
37	教育総務課	家庭科プレゼンテーションフェスティバル【資料2-2⑥】	南中学校2年生が愛知たいようの杜（福祉施設）訪問と学校での市民講座を通して乳幼児と高齢者ふれあい体験を行う（2月・3月実施）。	教育方針 2	地域の人々と協働しようとする方法について創造し、実践していこうとすることをねらいとしている。
38	中央図書館	学校連携事業	中央図書館の学校連携司書を市内小中学校へ派遣し、本の読みかせやブックトークなどの学校の読書活動を支援する。	教育方針 2	本を通して新しい知識や考え方を得て「生きる力」を育み成長できるよう意識している。

番号	課名等	取組名	取組概要	該当する教育大綱の教育方針	共生のポイント
39	中央図書館	ボランティア活動	絵本の読みきかせや返本・書架整理、図書修理の活動をボランティアにお願いしている。	教育方針 3	読みきかせを通して本への興味関心を持ってもらう。また図書館見学としてボランティア活動を子どもたちに見てもらうことで、図書館を利用するために様々な人が図書館運営に関わっていることを学ぶことができる。